

■第2回陸奥の国のまちづくりワークショップ 意見のまとめ 緑グループ

	現況の問題点	将来のイメージ	整備・保全・改善の考え方
住宅市街地	<ul style="list-style-type: none"> ・第一種住居専用地域内で建物の老朽化が目立つ。 ・市街地において、宅地化が虫食い状態に進められている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・狭あい道路、行き止まり道路が多い住宅地を改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区画整理事業等で計画的に整備する。 ・地区計画で開発を規制する。
道路	<ul style="list-style-type: none"> ・行き止まり道路や消防車が通れない道路がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路3・4・3の橋が整備されると交通の流れがよくなる。(図B) 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備されていない都市計画道路のルート等を検証する必要がある。
公共交通 高齢化社会		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等の自家用車を運転できない人のために、公共交通(鉄道、民間バス)を確保する。その他の行き届かない地域をコミュニティバスなどで補完する。 ・中央地区交差点付近は、交通の中心となりうる場所である。(図A) 	
医療・福祉施設		<ul style="list-style-type: none"> ・むつ病院の拠点化を進める。 ・むつ病院を中心とした組織化等のネットワークシステムを構築する。 ・放射能施設のある地域の特性を踏まえて、放射線関連の病院を整備する。 	
住環境の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・下水道整備が必要である。 ・住宅地づくりのためには産業育成が必要である。 <p>⇒次回の協議へ引き継ぐ</p>	
中心市街地		<ul style="list-style-type: none"> ・伝統・文化を活かした街づくりのために、田名部地区を再生する。 	

